

137期報告書

2013年4月1日～2014年3月31日

信越化学工業株式会社



Highlight シンエツハイライト

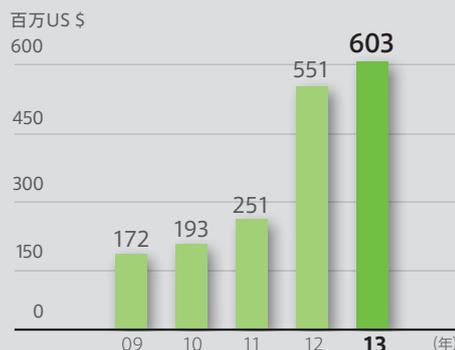
<p>売上高</p> <p>1兆1,658億円</p> <p>+13.7%</p> <p>前期比1,404億円増</p>	<p>営業利益</p> <p>1,738億円</p> <p>+10.7%</p> <p>前期比168億円増</p>
<p>経常利益</p> <p>1,806億円</p> <p>+6.1%</p> <p>前期比104億円増</p>	<p>純利益</p> <p>1,136億円</p> <p>+7.5%</p> <p>前期比79億円増</p>
<p>自己資本比率</p> <p>80.6%</p> <p>純資産1兆8,221億円 総資産2兆1,989億円 (ご参考：自己資本1兆7,731億円)</p>	<p>海外売上高比率</p> <p>71.2%</p> <p>年間配当金 100円</p>

当期の注目ポイント

米国子会社のシンテック社が最高益を更新

世界最大の塩ビメーカーである米国のシンテック社の経常利益は6億3千万ドル(約589億円)となり、最高益を更新しました。シンテック社は、連結経常利益の3分の1の利益をあげ、当期も連結の増益に貢献しました。

シンテック社の経常利益の推移(過去5年間)



しんえつニュースクリップ

信越ポリマー社「落としても割れない」シリコン製グラスを発売

グループ会社の信越ポリマー社は、信越化学のシリコンを使った高透明のシリコン製グラス「shupua(シュプア)」を発売しました。外観はガラスのようですが、柔らかいため落としても割れません。また、シリコンが持つ熱が伝わりにくい特長から、熱い飲み物を入れても器が熱くなりにくく持ちやすい、氷を入れても溶けにくいなどの利点があります。

シリコンは、安全性に優れているだけでなく様々な特性をもつことから、今やキッチン用品には欠かせない素材として使われています。



【shupua お問い合わせ先】

URL: <http://www.shupua.com/>
TEL: 0120-71-1867

株主の皆さまへ

事業の強化を推し進め、 国際競争力を高めてまいります。



代表取締役会長 金川 千尋



代表取締役社長 森 俊三

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

●当期の概況

当期の世界経済は米国では緩やかな回復が続きましたが、アジア地域などの新興国では伸び悩みの傾向が見られ、欧州では財政問題の影響もあり停滞が続きました。一方、日本経済は円安の進行や雇用情勢の改善もあり、輸出や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、回復基調をたどりました。

このような状況のもとで当社グループは、世界の幅広い顧客に積極的な販売活動を行い、技術や品質の向上のほか新規製品の開発にも鋭意取り組んでまいりました。また、生産能力の増強や生産拠点の複数化、原材料の安定的な確保にも注力するなど、引き続き強固な事業基盤の構築に努めてまいりました。

この結果、連結売上高1兆1,658億1千9百万円（対前期比13.7%増）、連結営業利益1,738億9百万円（同10.7%増）、連結経常利益1,806億5百万円（同6.1%増）、連結当期純利益1,136億1千7百万円（同7.5%増）となりました。

●主要事業の動向

塩ビ・化成系事業では、米国子会社のシンテック社が米国内はもとより世界中の需要家への拡販により高水準の出荷を継続し、原材料からの一貫生産工場も高い稼働を続けました。この結果、2期連続で過去最高益を更新し、当社グループの増益に大きく貢献いたしました。

半導体シリコン事業では、パソコンの低迷が続いたもののスマートフォンやタブレットPCなどモバイル機器や車載向けデバイス市場が好調に推移し、季節調整の影響はありましたが、全般的には堅調に推移しました。こうした中、高品質ウエハーの安定供給に努める一方、先端品の開発や生産性の向上などにも継続的に取り組み、増益を達成いたしました。

シリコン事業では、国内において自動車や化粧品向けの高付加価値製品が好調に推移し、海外においても欧米向けの機能製品や中国向けの汎用品も堅調でした。

電子・機能材料事業では、ハイブリッド車をはじめとする自動車向けの希土類磁石に加え半導体デバイスの微細化進展に伴い、フォトレジスト製品やマスクブランクスが好調に推移しました。

●さらなる成長に向けて

シンテック社はさらなる成長に向けた投資を進めています。新興国でのインフラの整備が進む中、世界の塩化ビニル樹脂（塩ビ）の需要が増加しています。この旺盛な需要を捉えるため、シンテック社は米国ルイジアナ州にある塩ビの原料のひとつである塩の電気分解からの一貫生産工場の能力を増強する工事を進めています。この建設が完成しますと、シンテック社の塩ビの生産能力は現在の年産263万トンから295万トンに増え、世界最大の地位をさらに強化することにな

ります。また、シンテック社は原料の安定調達のために、主原料の1つであるエチレンの生産工場の建設を検討しており、その建設のための許可を2014年4月にルイジアナ州の環境庁に申請しました。

シリコン事業では、当社の強みである製品開発力を生かしながら、旺盛な伸びが続いているアジアでのシリコンの需要を捉えてまいります。

希土類磁石事業では、ベトナムに製造工場を新設することを決定し、建設工事を進めています。この工場が完成すると、希土類磁石の重要な製造工程である焼結工程を日本に加えベトナムで持つこととなります。生産拠点の複数化により安定供給体制を強化し、自動車向けを中心として需要の拡大が続いている希土類磁石の拡販を目指してまいります。

●企業価値の拡大に向けて

当社グループは、長期的な観点に立った事業収益の拡大と企業体質の強化に取り組んでいます。事業収益の拡大には、設備と研究開発への投資が不可欠です。当社はこれまでも需要の伸びを捉えた迅速な設備投資や顧客のニーズに応じた製品開発に鋭意取り組み、収益を伸ばしてきました。この速やかで時機を捉えた投資を可能にしたのが、健全な財務の力です。今後も、健全な財務を持つ強さを生かしながら、需要の伸びを捉えた投資を速やかに実施してまいります。

当社グループはこうした企業努力の成果を、株主の皆さまに適正に還元することを基本方針としております。配当は安定して行うことにより幅広い株主の皆さまのご期待にお応えしてまいります。

また、世界経済が大きく変動する中で企業を永續させ発展させていくことが、最も重要な経営の使命と考えます。そのために、深刻な経済危機や需要の急激な落ち込みに直面しても、それを乗り越えることができる盤石な財務基盤を構築してまいります。

●安全確保の最優先と公正な経営の推進

当社グループは、遵法に徹した公正な企業活動を行い、安全を常に最優先することを経営目標に掲げ事業活動を進めております。そのために、厳格な内部統制とともに、社外取締役および社外監査役が独立した立場で経営の監督を行うなど、経営の健全性と透明性をさらに高めるよう努めております。

当社グループは、素材と技術を通じた暮らしや産業、社会への貢献によって企業価値を高め、株主の皆さまのご期待にお応えできますよう取り組んでまいります。

株主の皆さまには、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年 6月
代表取締役会長

代表取締役社長

金川千尋 森俊三

Net Sales/Operating Income by Segment 事業概況

塩ビ・化成系

売上高比率 36.7%

- 米国シンテック社が世界中の顧客への拡販で高水準の出荷を維持し、業績を伸長させました。
- オランダのシンエツPVC社も出荷が堅調に推移しました。
- 国内は、住宅関連需要により回復基調をたどりましたが、原材料価格の上昇もあり厳しい状況が続きました。

主要製品 塩化ビニル樹脂、か性ソーダ、メタノール、クロロメタン

売上高 +24.5%



営業利益 +32.0%



半導体シリコン

売上高比率 18.3%

- 期の初めは、パソコンの需要低迷が続いたものの、スマートフォンやタブレットPCなどモバイル機器向けの需要拡大により、緩やかな回復基調をたどりました。
- 上半期の後半以降は、高性能スマートフォンの需要減速に伴う生産調整の影響を受けたものの、低価格スマートフォンやタブレットPCのほか、自動車用のデバイス向けに出荷は底堅く推移しました。

主要製品 半導体シリコン

売上高 +5.3%



営業利益 +11.5%



シリコン

売上高比率 13.4%

- 国内は自動車と化粧品向けが順調に推移したことに加え、電子機器向けも期後半から回復に向かいました。
- 海外は、欧米向けの機能製品や中国向けの汎用品が堅調でした。

主要製品 シリコン

売上高 +21.2%



営業利益 +11.0%



電子・機能材料

売上高比率 14.7%

- 希土類磁石はハイブリッド車をはじめとした自動車向けが好調でしたが、ハードディスクドライブ向けなどが振るいませんでした。
- フォトレジスト製品は、半導体デバイス微細化の進展もあり、ArFレジストや多層レジスト材料などが大きく伸長しました。
- LED用パッケージ材料は堅調でした。
- 光ファイバー用プリフォームは総じて堅調でしたが、期後半から調整局面を迎えました。

主要製品 希土類磁石、半導体用封止材、LED用パッケージ材料、フォトレジスト、マスクブランクス、合成石英製品、液状フッ素エラストマー、ペリクル

売上高 -6.5%



営業利益 +0.3%



機能性化学品

売上高比率 8.8%

- 国内のセルロース誘導体は、建材用が順調に推移したことに加え、医薬用製品も堅調でした。
- ドイツのSEタイロース社のセルロース誘導体は、価格競争の激化の影響を受けました。
- 豪州のシムコア社の金属珪素は、期後半から回復の動きがありましたが、市況低迷の影響を受けました。

主要製品 セルロース誘導体、金属珪素、パール、合成性フェロモン

売上高 +23.6%



営業利益 -11.8%



その他関連

売上高比率 8.1%

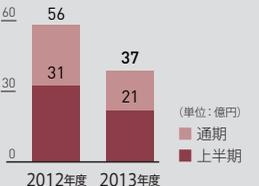
- 信越ポリマー社の自動車用キーパッドは堅調に推移し、半導体ウエハー関連容器は回復の動きが見られました。
- 信越エンジニアリング社のエンジニアリング事業は低調でした。

主要製品 樹脂加工製品、技術・プラント輸出、商品の輸出入、エンジニアリング

売上高 +12.2%



営業利益 -34.5%



特集 進化する信越グループの国際競争力

信越グループは、半世紀前から海外で事業を行い、世界の市場での販売に注力してきました。その結果、数多くの製品が世界でトップクラスの地位を確立するまでに成長しました。信越グループの製品シェアをより一層伸ばしていくために、世界中のお客さまに対し積極的な販売を進めていくとともに、技術や品質の向上、新規製品の開発にも鋭意取り組んでいます。また、需要動向を的確に捉えた設備投資や、生産拠点の複数化など事業基盤の強化のための投資も、積極的に進めています。

国際競争力を支える強み >>> トップシェア製品

信越グループは高品質な製品を安定して供給できる生産体制の構築、用途や目的に合わせた迅速な製品開発を通じてお客さまのニーズにお応えしてきました。その結果、塩化ビニル樹脂（塩ビ）や半導体シリコンをはじめとした複数の主要製品で、世界トップクラスの高いシェアを有しています。

塩化ビニル樹脂（塩ビ）

生産拠点 >>> 米国、日本、オランダ、ポルトガル

主な用途 >>>



塩ビは汎用プラスチックの1つで、「加工がしやすい」「環境にやさしく、リサイクルが容易」「耐久性が高い」などの特色があります。インフラ整備から生活用品まで、社会や生活を支える素材として私たちの身近な暮らしの中で役立っています。信越グループは世界最大の塩ビメーカーとして、高品質な製品を安定供給しています。

- 上下水道用のパイプ
- 外壁や窓枠、床材、壁紙など住宅用途
- 電線の被覆
- 農業用フィルム
- 医薬、食品用包装材…など

半導体シリコン

生産拠点 >>> 日本、米国、マレーシア、台湾、イギリス

主な用途 >>>



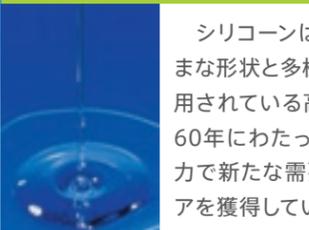
半導体シリコンウエハーは、パソコン、スマートフォン、デジタル家電、自動車など、電子機器には欠かせない半導体デバイスの基板として使われています。電子機器の小型化と高性能化の急速な進展に伴い、半導体シリコンウエハーに対する技術要求も高まってきています。信越グループは世界のトップメーカーとして、高度な製造技術を生かし高品質なウエハーの開発と生産に取り組み、お客さまのニーズにお応えしています。

- パソコン、タブレットPC
- スマートフォン、携帯電話
- テレビ、DVDなどの映像機器
- デジタルカメラ
- 自動車…など

シリコン

生産拠点 >>> 日本、タイ、米国、オランダ、中国、台湾、韓国

主な用途 >>> 電子機器、自動車、化粧品、キッチン用品、住宅など



シリコンはオイル、レジン、ゴムなどさまざまな形状と多様な機能を持ち、幅広い分野で使用されている高機能樹脂です。信越グループは60年にわたって培ってきた技術開発力と販売力で新たな需要を開拓し続け、国内トップシェアを獲得しています。

セルロース誘導体

生産拠点 >>> 日本、ドイツ

主な用途 >>> 医薬、トイレタリー、建築、土木、セラミックスなど



セルロース誘導体は、天然のパルプからつくられる素材です。当社は用途に応じてさまざまな性質をもつ製品の開発に成功しました。国内トップシェア、世界でもトップクラスのメーカーとしてお客さまのニーズにお応えしています。

希土類磁石

生産拠点 >>> 日本、マレーシア、フィリピン、タイ、中国、ベトナム

主な用途 >>> 自動車、パソコン、家電、風力発電など



フェライト系磁石の約10倍もの磁力をもつ希土類磁石は、ハイブリッド車をはじめとした自動車関連や、家電製品などに使われ、機器の省エネルギー化、小型化、軽量化、高効率化に貢献しています。当社は、希土類磁石の原料のレア・アースの分離精製から加工までの一貫生産により、高品質な製品の安定供給とともに新たな製品の開発も行っています。

フォトレジスト

生産拠点 >>> 日本

主な用途 >>> 半導体デバイスの製造工程



フォトレジストはシリコンウエハーの上に微細な回路を形成する工程に欠かせない材料です。フォトレジストの性能が半導体デバイスの性能を大きく左右するため、高度な品質が求められる製品です。当社は世界トップクラスの技術でお客さまのニーズに速やかに応え、最先端を走り続けています。

>>> 世界一の事業をより強く

シンテック社が生産能力を拡大へ

米国



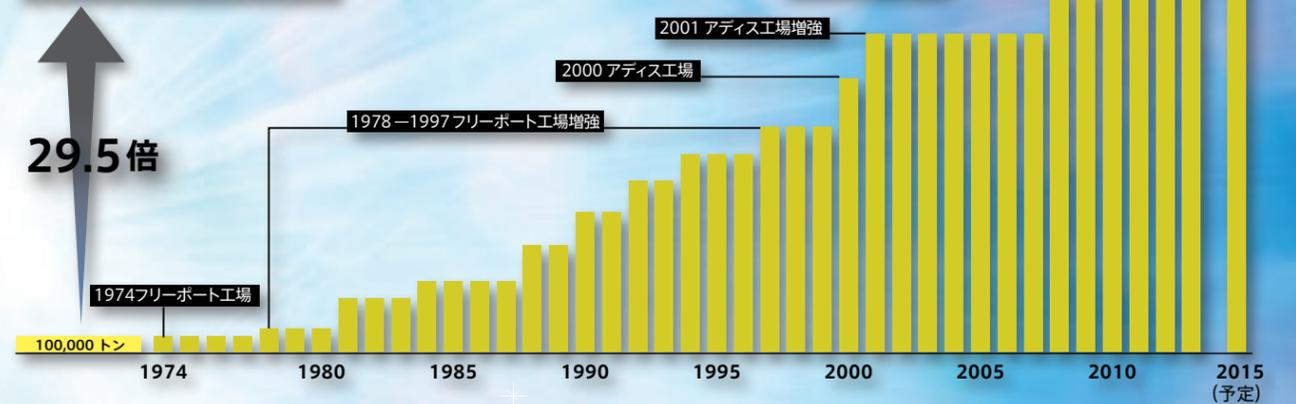
塩ビ



塩ビ事業の中核を担う米国のシンテック社は世界の塩ビ需要の伸びを見込み、ルイジアナ州での電解、塩ビモノマーおよび塩ビの生産能力の増強を進めています。増強する生産能力は塩ビモノマー約30万トン/年、か性ソーダ約20万トン/年、塩ビ約30万トン/年で、2015年の完成を目指しています。この増強により、シンテック社の塩ビの生産能力は合計で295万トン/年となり、操業開始時と比べ約30倍に拡大することになります。また、シンテック社では、原料に遡った一貫生産体制をさらに強固なものとするため、2014年4月、ルイジアナ州の環境庁に塩ビの主原料の1つであるエチレンの工場建設許可を申請しました。今後、エチレンの自社生産に向けての検討を進めてまいります。

シンテック社 塩ビの生産能力

2,950,000 トン
(2015年完成予定分を含む)



>>> アジア地域でさらなる事業拡大へ

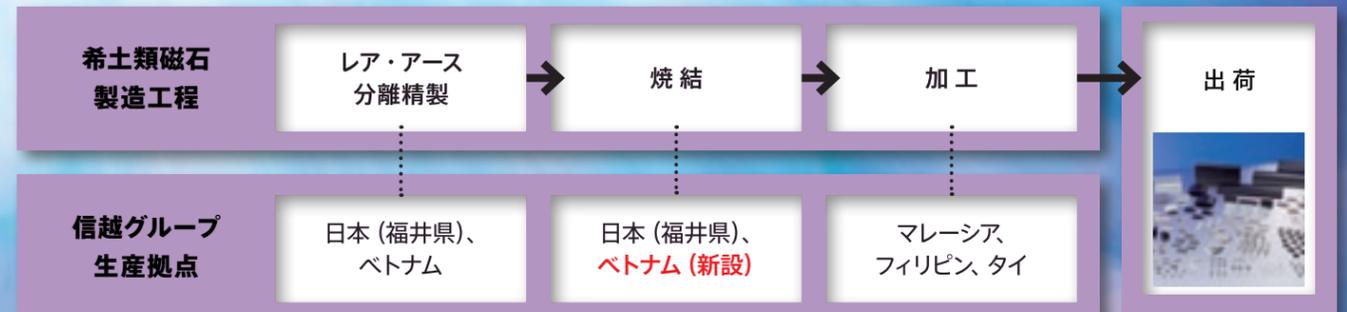
ベトナムで希土類磁石の製造工場を新設へ

ベトナム



希土類磁石

当社は、ベトナムで希土類磁石の製造工場を新設することを決定しました。新工場の生産能力は国内の武生工場（福井県）の生産能力の5割に当たる2千トン/年で、第一期分（1千トン/年）は2015年9月、第二期分（1千トン/年）は2016年9月の完成を予定しています。ベトナムでは希土類磁石の原料であるレア・アースの分離精製を行う工程に加え、これまで国内で有していた焼結工程も手掛けることとなります。生産拠点の複数化によりお客さまへの供給体制を強化するとともに、生産能力の増強により、自動車用途を中心に拡大が見込まれる需要を積極的に捉え、事業の拡大を進めていきます。



会社概要 (2014年3月31日現在)

商号：信越化学工業株式会社
 設立：1926年9月16日
 資本金：119,419,688,785円
 本社：〒100-0004
 東京都千代田区大手町
 二丁目6番1号
 電話：03(3246)5091(広報部)
 URL：http://www.shinetsu.co.jp/
 従業員数：17,892名(連結)

役員 (2014年6月27日現在)

代表取締役会長	金川 千尋	取締役	フランク・ピーター・ポポフ*1	池上 健司
代表取締役社長	森 俊三		金子 昌資*1	塩原 利夫
代表取締役副社長	秋谷 文男		宮崎 毅*1	常勤監査役 岡田 理
	斉藤 恭彦		福井 俊彦*1	監査役 渡瀬 昌彦*2
専務取締役	石原 俊信		小宮山 宏*1	福井 琢*2
常務取締役	幅田 紀一		宮島 正紀	小坂 義人*2
	高杉 晃司		笠原 俊幸	永野 紀吉*2
	轟 正彦		小根澤 英徳	*1 社外取締役
	秋本 俊哉		中村 健	*2 社外監査役
	荒井 文男		岡本 博明	
	松井 幸博		上野 進	
			丸山 和政	

株式の状況 (2014年3月31日現在)

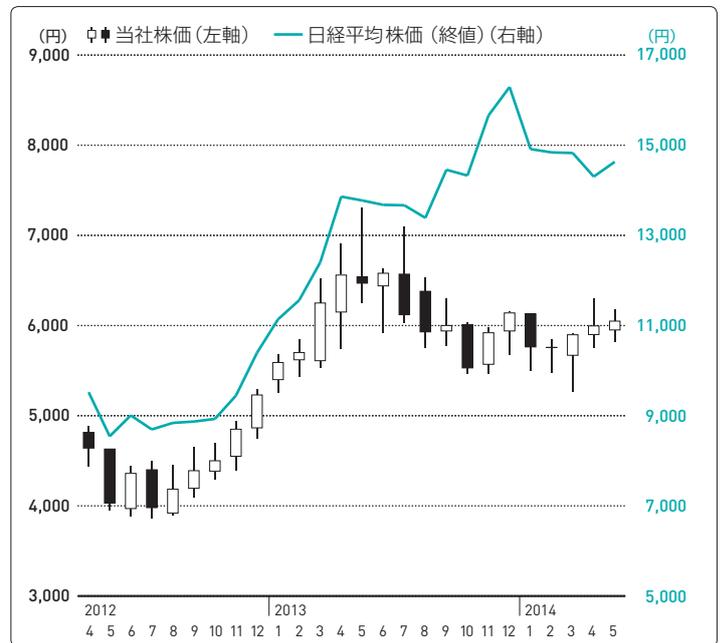
発行する株式の総数：1,720,000,000株
 発行済株式総数：432,106,693株
 (注) 自己株式6,413,086株が含まれております。
 株主の総数：65,234名

大株主 (千株未満は切捨表示)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	37,217	8.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	27,631	6.5
日本生命保険相互会社	23,151	5.4
株式会社八十二銀行	11,790	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	11,257	2.6
明治安田生命保険相互会社	10,687	2.5
ザバンク オブ ニューヨーク メロン エスエーエヌバイ 10	5,792	1.4
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	5,588	1.3
日本興亜損害保険株式会社	5,177	1.2
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー	4,979	1.2

(注) 当社は、自己株式6,413,086株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株価の推移



株主メモ

事業年度：4月1日～翌年3月31日
 期末配当受領株主確定日：3月31日
 中間配当受領株主確定日：9月30日
 定時株主総会：毎年6月
 公告掲載方法：電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。
 (http://www.shinetsu.co.jp/)
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 単元株式数：100株
 上場証券取引所：東京・名古屋
 株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の管理機関
 同連絡先：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711 (通話料無料)

株式に関する手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
証券会社等の口座に記録された株式	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	
上記以外のお手続き、ご照会など	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください
特別口座に記録された株式	
特別口座から一般口座への振替請求	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
単元未満株式の買取・買増請求	
住所、氏名などのご変更	
特別口座の残高照会	
配当金の受領方法の指定	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	

